

薬剤耐性（AMR）アクションプランの進捗

国立国際医療研究センター病院

AMR臨床リファレンスセンター

大曲 貴夫



国立国際医療研究センター AMR臨床リファレンスセンター



AMR Clinical Reference Center (AMRCRC)



薬剤耐性（AMR）対策を推進するため、AMRアクションプラン（国際的に脅威となる感染症対策閣僚会議）に基づく業務を行う

<臨床疫学事業>

AMRアクションプランに基づく臨床疫学に係る業務を行う（サーベイランス、地域連携支援、耐性菌アウトブレイク対策の実施を支援）

医療関連感染症・感染症診療・
感染対策指標サーベイランス

薬剤耐性菌・主要検出菌
サーベイランス

抗菌薬使用量・抗菌薬適正使用推進
サーベイランス

情報の集約

地域連携支援の実施

国や地域のベンチマークデータの作成、
AMR対策の向上

<AMR対策情報・教育支援事業>

薬剤耐性（AMR）対策アクションプランに基づく情報・教育に係る業務を行う（研修企画・運営、コンソーシアム事務局、薬剤耐性情報サービス）

国民・医療者

薬剤耐性情報サービス

- ・ 薬剤耐性に関する相談窓口
- ・ E-learning開発・公表
- ・ 教育資材の開発等
- ・ ウェブサイトの運用
- ・ アウトブレイク時の相談支援

教材を提供

情報提供

研修企画・運営

- ・ 入門的な研修会（自治体担当者・社会福祉関係）
- ・ 教育研修（地域の医療従事者）
- ・ 実地疫学研修

人材を登録

コンソーシアム事務局

- ・ コンソーシアム開催
- ・ マニュアル・ガイドライン案作成
- ・ 特定層（患児・小児・施設入所者など）への啓発素材の作成
- ・ 人材登録の体制構築・運営
- ・ 市民モニター側からの意見聴取

研修企画

内容を評価

感染症教育

コンソーシアム

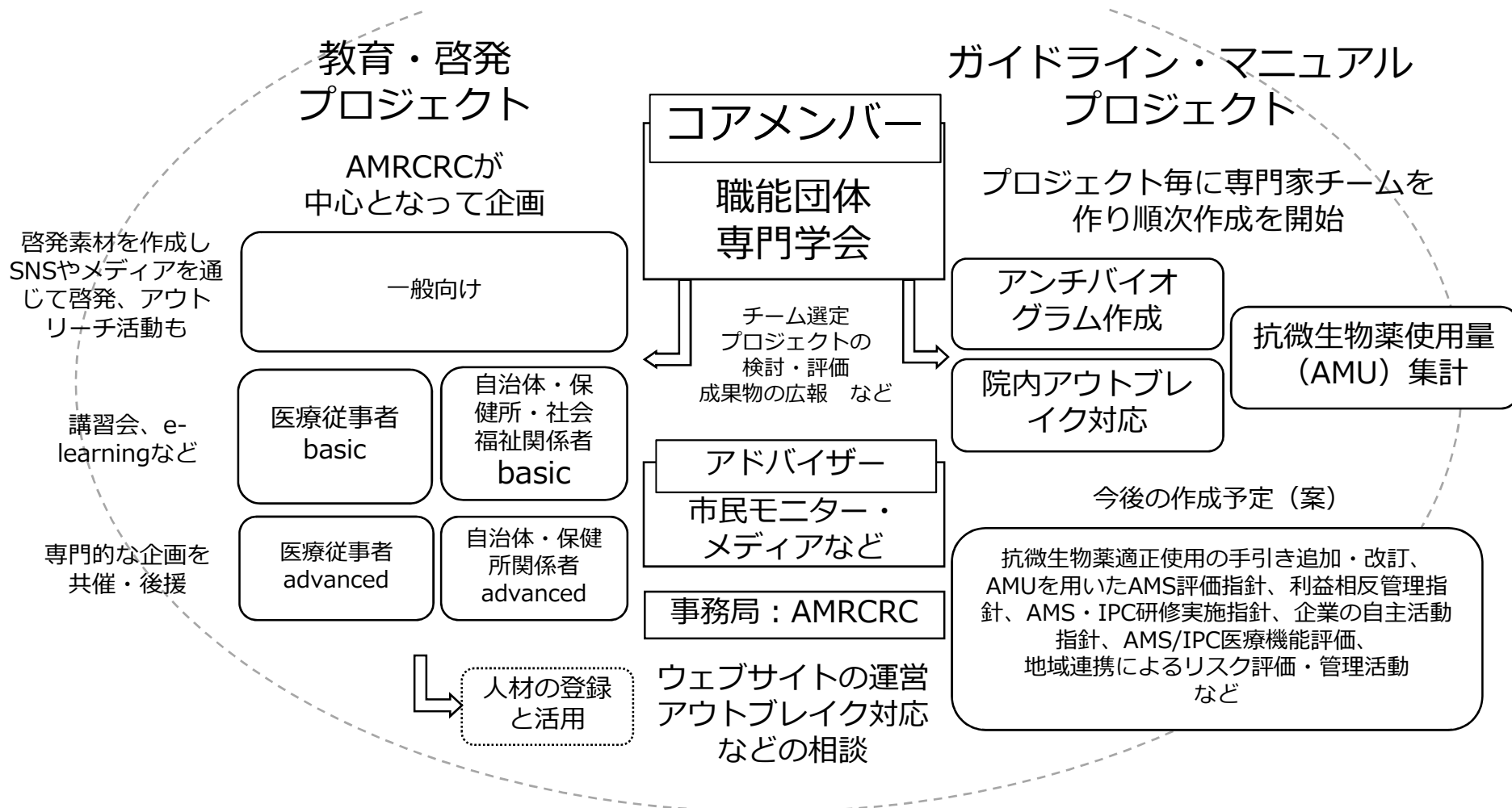
- ・ マニュアル等の評価
- ・ 研修普及啓発実地の評価

事務作業を指示



国立国際医療センター AMR臨床リファレンスセンター 情報・教育支援部門

感染症教育コンソーシアム



啓発用ウェブサイトの公開（9月15日）



<http://amr.ncgm.go.jp/>

SNSを用いた啓発活動

Facebook



一般向け @NCGMAMR



医療従事者向け @AMRRCRJAPAN

Twitter



一般・医療従事者向け
@AMRRCRC_JAPAN

啓発資材の作成

インフォグラフィック

今から出来る6つの薬剤耐性予防



- 抗菌薬は医師の処方箋が必要です
- 抗菌薬は医師の指示通り飲みます
- 抗菌薬をとっておいてあとで飲まない
- 抗菌薬をおげない、もらわない
- わからないことは医師や薬剤師に聞こう
- 感染症を予防しよう

「かしこく治して、明日につなぐ」
～抗菌薬を上手に使ってAMR対策～

AMR
Clinical Reference Center
厚生労働省薬事事業

ポスター・リーフレット

人・抗生物質 新時代
Antibiotics and Antibacterial Drugs in the New Era

抗生物質・抗菌薬が効かなくなる未来に立ち向かえ!

AMR対策

いきまあーす!

みんなにも
できることがあるんだ

あなたにできること

- 感染を防ぐために、日頃から手洗い・咳エチケットをする
- 医療機関などで、
 - ☒ 症状を医師に詳しく伝える
 - ☒ 分からないことは医師や薬剤師に聞く
 - ☒ 量と期間を守って最後まで抗生物質・抗菌薬を服用する

※AMRとは、病原体が変化して抗生物質・抗菌薬が効かなくなることです

詳しくはこちら

QRコード

非売品

医療従事者向け教育啓発活動

- AMR対策臨床セミナー
(医療従事者対象、全国7ヶ所)
- AMR対策歯科臨床セミナー（日本歯科医師会共催）
- AMR対策公衆衛生セミナー

- ・薬剤耐性（AMR）川柳公募
- ・メディアセミナー（11月8日）
- ・各地の取り組みをウェブサイトで紹介
- ・啓発イベント



厚生労働省委託事業
AMR臨床リファレンスセンター主催

AMR対策 臨床セミナー

日程	2017/10/28(土) 14:00 (開場 13:30)
会場	フクラア東京ステーション 会議室H 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル5F



1. AMRの現状 14:00~15:00
大曲 貴夫 (国立感染症研究所中央病院 感染症診療センター)
2. 抗感染薬の適正使用 15:00~16:00
宮入 烈 (国立感染症研究所中央病院 感染症科)
3. 感染対策 16:00~17:00
松本 芳博 (国立感染症研究所中央病院 AMR臨床リファレンスセンター)

参加費：無料 定員：200名
申し込み：国立感染症研究所中央病院 AMR臨床リファレンスセンター
よりQRコード、またはURL: <https://goo.gl/FwWmkie>に
アクセスし登録をお願いします
Fax (03-6228-0420)での受付も可能です(氏名、所属、連絡先を明記)。

日本学会生涯学習制度のカリキュラムコード3単位が取得できます
ICD対応資格の発給するその他の研修施設、教育企業との2点を取得できます

アウトリーチ活動

[illegible]

品川区立御殿山小学校での出張授業
「感染症と薬について学ぼう」
(9月14日)

知ろう小児医療守ろう子ども達の会
「小児医療基礎講座」での講義
(9月23日)



AMR
Global Reference Center

「こどもの薬・こどもに多い感染症・こどもの薬剤耐性対策」について

『第1回 小児医療基盤講座』報告書

AMR主催リファレンスセンターの啓発活動の一環として、「第1回 小児医療基盤講座」の中で、こどもの感染症・薬剤耐性対策における正しい知識と適切な「教育機関での子どもを一つ抱く」ました。

【講座概要】 一般社団法人 知ろう小児医療守ろう子どもの未来の会（代表：岡真弓氏）
『第1回 小児医療基盤講座』

【講 師】 AMR主催リファレンスセンタースタッフ
 情報・教育支援部長 岡 芳雄（臨床感染症科）
 主任研究員 奥本 宏子（呼吸器感染症科）
 主任研究員 松本 雅夫（小児科感染症科）

【対 象】 保健師・看護士・保育士、子育て支援者など親子に関わる方々を対象

【開催日時】 2017年9月22日（土） 第1回小児医療基盤講座 第1日目 午後の部
 15:00～17:00（受付：14:45～）会場入屋は15:00）

【開催会場】 高松通商 本社事務所併設 セミナー会場
 （東京都港区海岸1-6-1 ニューパブリックザウタウワ 11階）

【内 容】 1. こどもの基礎知識
 2. こどもに多い感染症など
 3. こどもに関わる薬剤耐性対策

一般社団法人 知ろう小児医療守ろう子どもの未来の会
 観覧無料参加 東京都中央区豊洲3-10-507
 初日（9月22日） 2007年4月23日
 法人設立日 2012年7月
 代 表 者 阿部 幸子
 会 員 会 員
 代表理事1名、理事1名、理事組込5名
 パーシ ン「クレームとしてではなく、顧客を」
 相手の立場や考え方を尊重しながら
 相互に理解して問題解決を図ること
 を伝えたいです。

☆メディア取材（業界紙 1社）
 ＊ニュースプレス



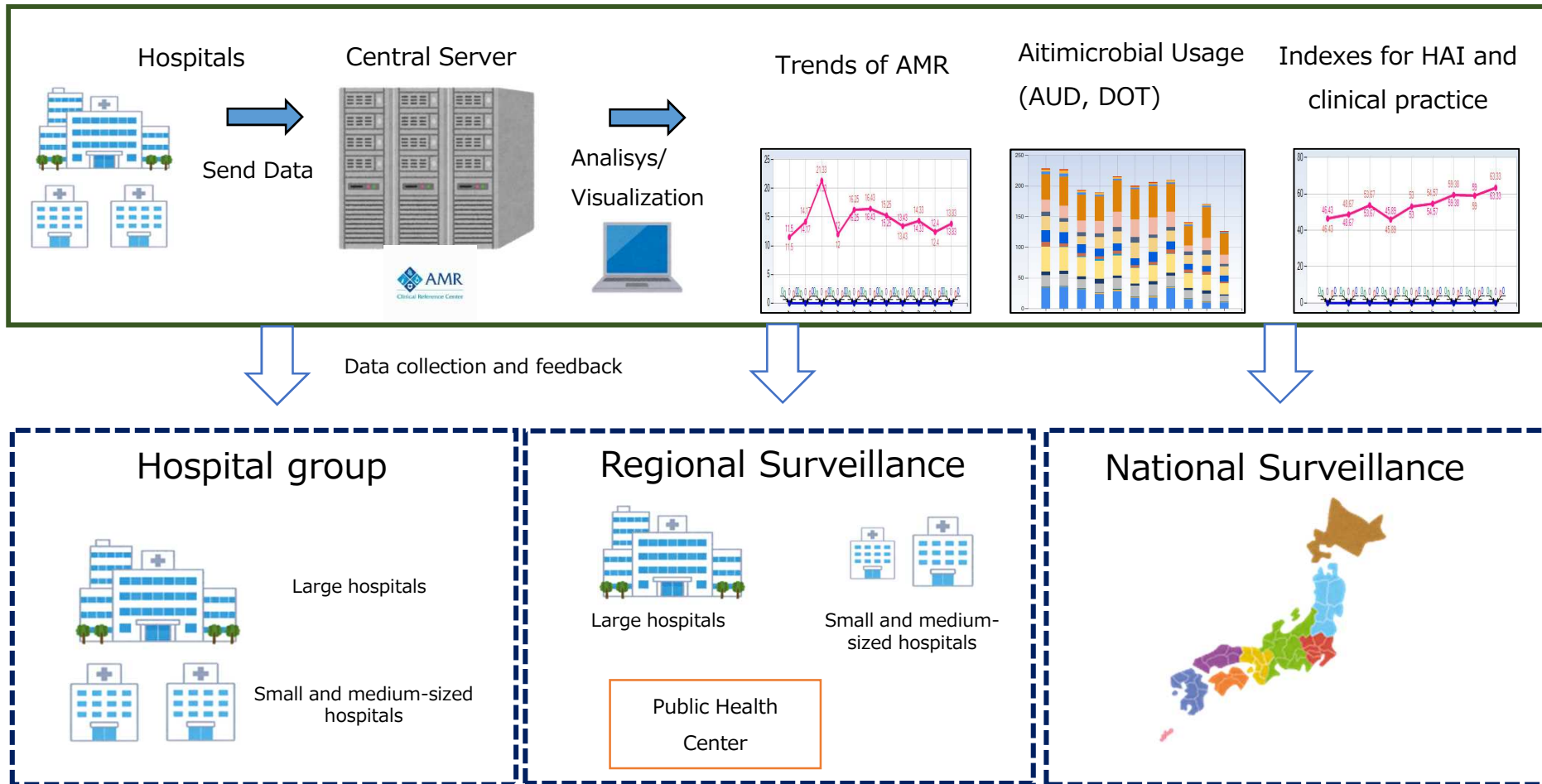





J-SIPHE : Japan Surveillance for Infection Prevention and Healthcare Epidemiology



Clinical Epidemiology Unit,
AMR Clinical Reference Center, NCGM



「薬剤耐性ワンヘルス動向調査」 Webサイト概要

- ▼開設日：2018年4月3日（火）
- ▼名 称：薬剤耐性ワンヘルス動向調査
- ▼URL：<https://amr-onehealth.ncgm.go.jp>



【サイトの概要と目的】

ワンヘルスの視点から、ヒト、動物、農業、食品及び環境の各分野の薬剤耐性菌の状況並びにヒト及び動物の抗菌薬の使用量(または販売量)に関する日本を代表する情報を一つに集約して掲載した初のサイトです。日本における関係各分野の状況をひとつのサイトにまとめあげたことは、薬剤耐性(AMR)対策の大きな一歩です。これらは、世界に発信できる数々の動向調査が日本に存在していることを示しています。

本サイトを踏まえて、多分野間の連携・協力が進み、AMR対策の更なる前進が期待されるとともに、今後先進的な調査への取組を続けることが、世界のAMR対策をリードする上でも重要と考えられます。

The screenshot shows the homepage of the 'AMR One Health' website. At the top, there is a navigation bar with the 'One Health' logo on the left and several menu items on the right: 'AMR(薬剤耐性)とワンヘルスの理解を深める統計情報サイト', '用語集', '抗菌薬・抗生物質の種類', and '引用文献'. Below the navigation bar, there is a secondary menu with 'ホーム', 'サイトの目的', '統計データ', 'サーベイランス事業', and 'お知らせ'. The main content area has a blue background and features the text '抗菌薬・抗生物質が効かなくなる未来に立ち向かうために。' followed by '薬剤耐性' and 'AMRワンヘルス動向調査' in large white letters. Below this, it says '2017年度レポート'. A white box contains a brief description of AMR (Antimicrobial Resistance) and the website's purpose. At the bottom, there is a small icon and the text '薬剤耐性ワンヘルスWebサイトオープンのお知らせ'.

AMR(薬剤耐性)とは、病原体が変化して抗生物質が効かなくなることです。
また、抗生物質・抗菌薬の使用に伴って、AMR(薬剤耐性)が起こることがあります。
本サイトは、日本国内の各分野における、薬剤耐性菌・抗微生物薬使用量の現状、及び動向の調査結果をまとめ、広く認識を持っていただくべく情報を公開しております。

薬剤耐性ワンヘルスWebサイトオープンのお知らせ

「都道府県別抗菌薬使用量 (販売量) 集計データ」

- ▼展開日：2018年4月3日（火）
- ▼名称：AMR臨床リファレンスセンター公式サイト
- ▼URL：<http://amrcrc.ncgm.go.jp/index.html>

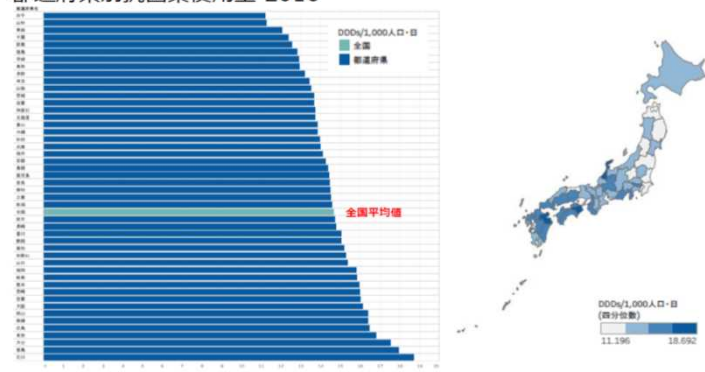


都道府県別抗菌薬使用量2013年～2016年の4年間のデータ（抗菌薬種類別/投与経路別）など国内初発表

AMR臨床リファレンスセンターでは、薬剤耐性(AMR)アクションプランを実行すべく、都道府県別抗菌薬使用量や使用増減率を公表することにより、医療従事者をはじめ行政団体への抗菌薬処方量の意識改革につながる情報を発信を行います。サーベイランス事業を通じて更なる情報の収集・分析・発信を積極的に行い、薬剤耐性(AMR)の認知、啓発を行ってまいります。

「国内都道府県別抗菌薬使用量 (販売量) 集計データ」

都道府県別抗菌薬使用量 2016



都道府県別抗菌薬使用増減率 2013～2016

